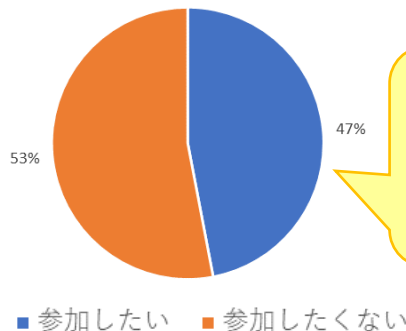


部活動地域移行に向けてのアンケート結果

11月に実施したアンケートへのご協力ありがとうございました。児童生徒、保護者、教員それぞれの部活動地域移行に対する考えを把握することができました。集まった考えを参考にしながら、どのような形での地域移行が実現できるのか今後も検討を重ねていきたいと思えます。

- 休日の部活動が地域クラブや地域の指導者による活動となる場合、活動に参加したいか？【児童生徒（4209人回答）】

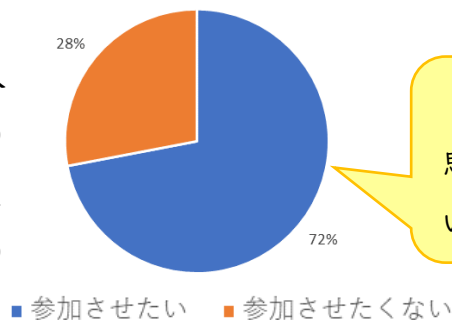
- ・ 参加したい 1963人 (47%)
- ・ 参加したくない 2246人 (53%)



参加したいと思う児童生徒の方がやや少ないです。

- 休日の部活動が地域クラブや地域の指導者による活動となる場合、子どもを活動に参加させたいか？【保護者（2343人回答）】

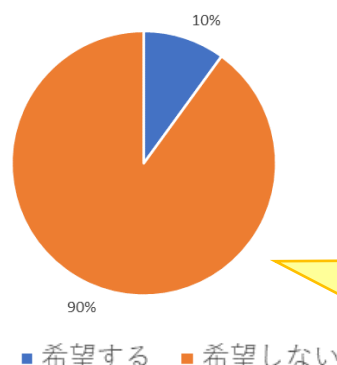
- ・ 参加させたい 1695人 (72%)
- ・ 参加させたくない 648人 (28%)



参加させたいと思う方がとても多いです。

- 休日の活動を指導者として指導することを希望するか？【教員（530人回答）】

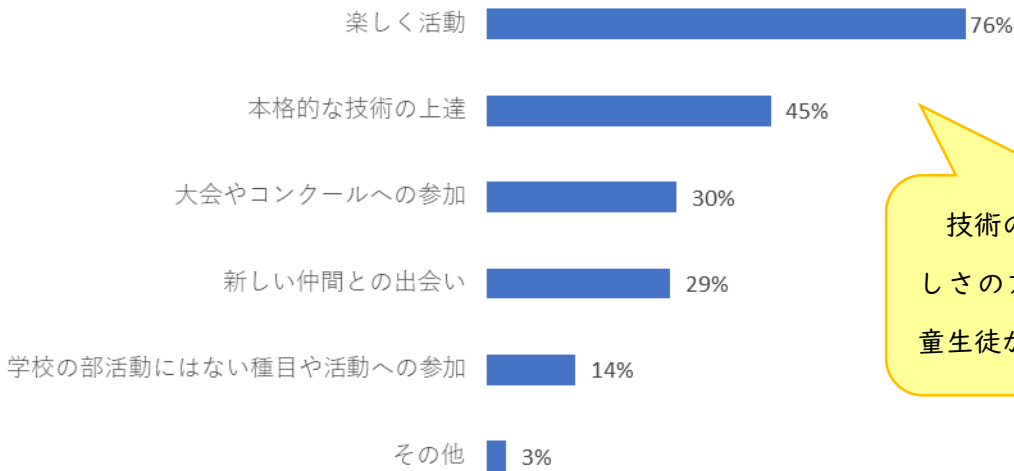
- ・ 希望する 55人 (10%)
- ・ 希望しない 475人 (90%)



希望される方はとても少ないです。

○ 参加したいと思う人は休日の活動に望むことは何か？（複数回答可）

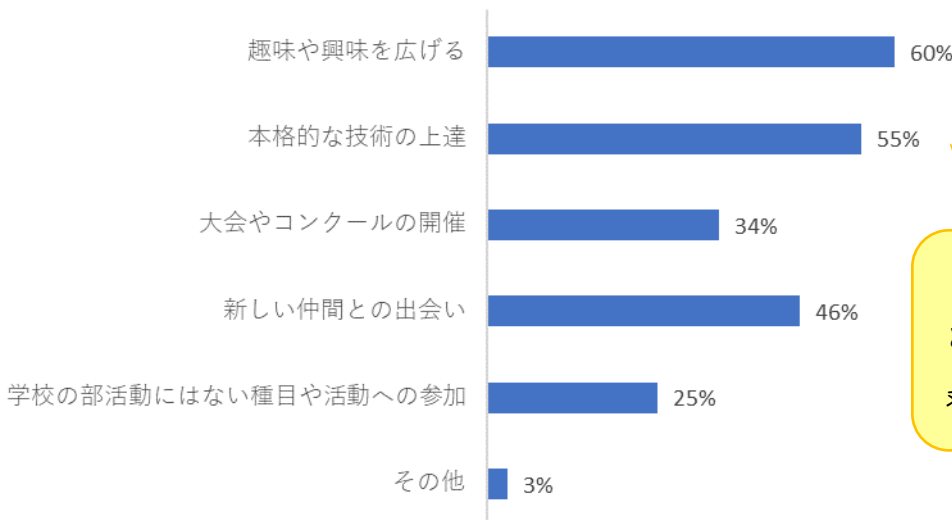
【児童生徒（1963人回答）】



技術の上達より、活動の楽しさの方を重視している児童生徒が多いです。

○ 参加させたいと思う人は休日の活動に望むことは何か？（複数回答可）

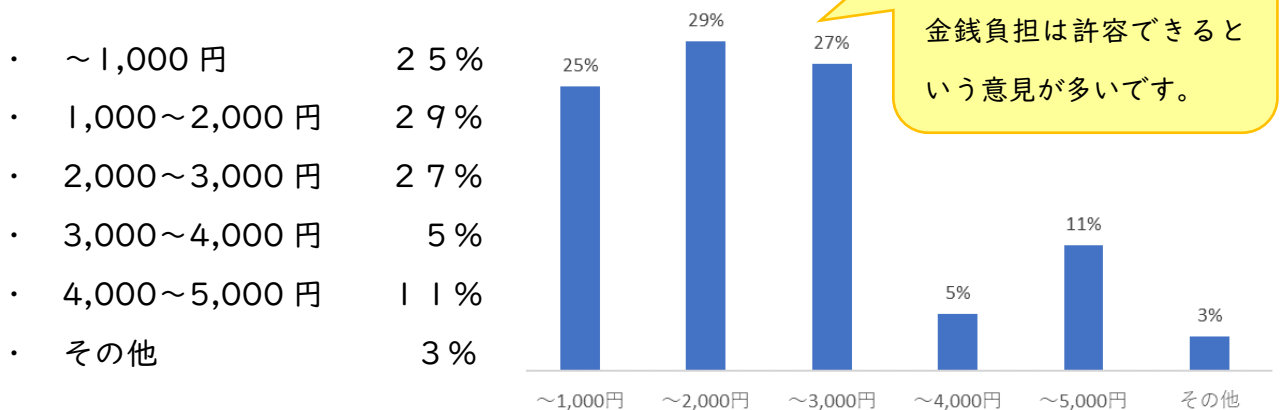
【保護者（1695人回答）】



趣味や興味を広げること、本格的な技術の上達を求める方が多いです。

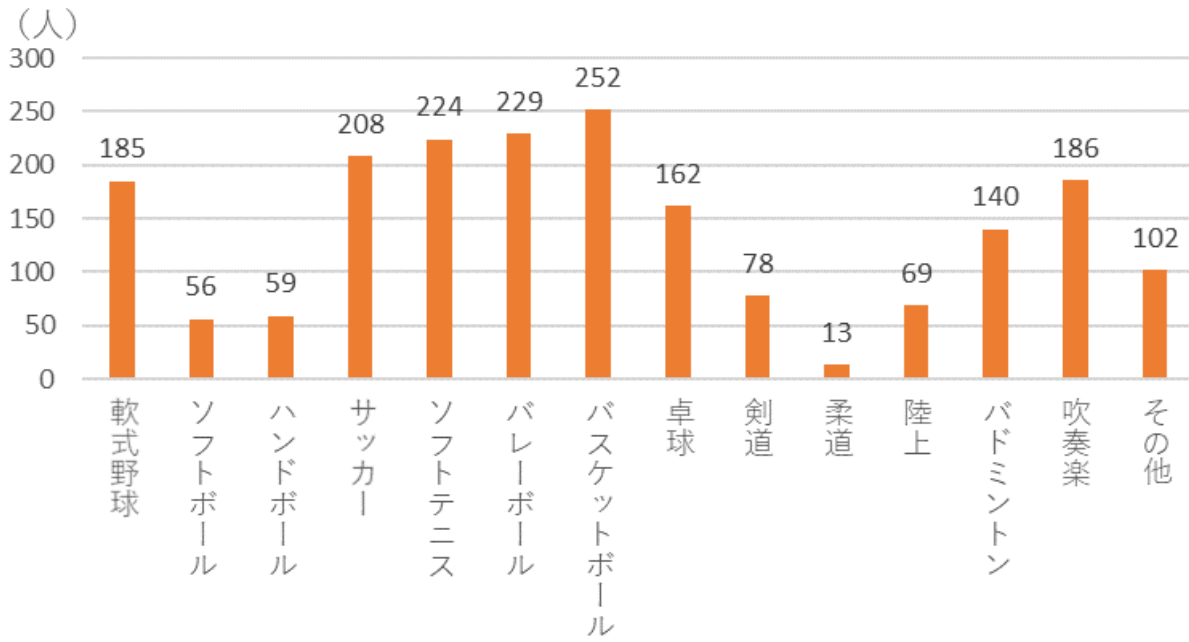
○ 休日の活動費が保護者負担となった場合、月額いくらまでなら許容できるか？

【保護者（1695人回答）】

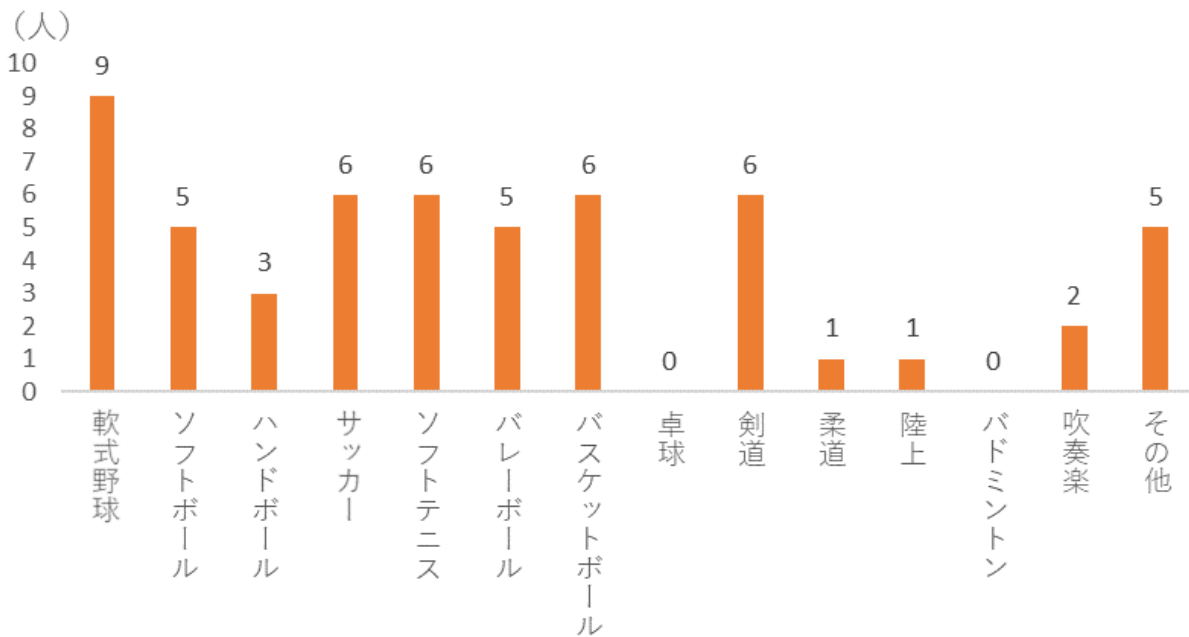


1000～3000円程度の金銭負担は許容できるという意見が多いです。

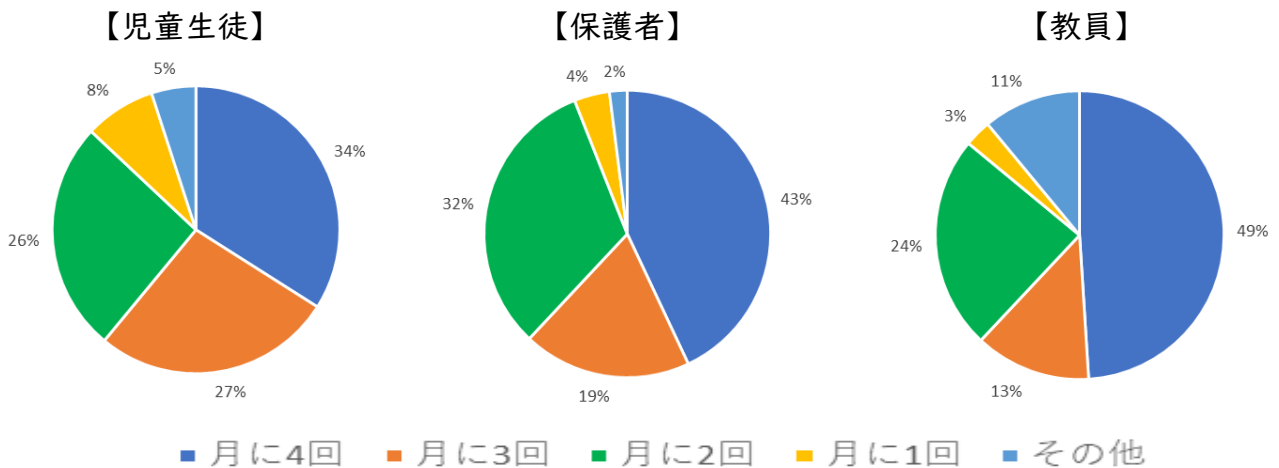
○ 「参加したい」と思う種目は何か？【児童生徒（1963人回答）】



○ どの種目での指導を希望するか？【教員（55人回答）】



○ 休日の活動回数はどれぐらいがよいか？



数多くいただいた意見の中から主なものを紹介します。多くの意見をいただいたことで、地域移行の実現に向けて、乗り越えなくてはならない壁が非常に多くあることが再認識できました。

【児童生徒からの意見】

- ・ 地域の知らない人に教えてもらうより、先生の方がよい。
- ・ 部活動は入部したときからの仲間と作り上げるすばらしい経験なので、それをなくすようなことには反対。
- ・ 地域の専門的な人が指導してくれるので、より技術が向上すると思う。
- ・ 先生たちの負担を減らすことは大切だと思うけれど、同じ学校の仲間、先生たちと慣れた環境で活動したい。

先生の負担を減らすためならという声が多くある一方で、先生からの指導の方がよい、これまで通りの部活動の在り方がよいという声も多くありました。

【保護者からの意見】

- ・ 平日と休日で指導者が代わることで指導方針がずれると子どもは不安になるので、指導者同士の連携をしっかりとしてほしい。
- ・ 地域の指導者に指導を任せただけの場合、怪我をしたときの責任の所在はどこにあるのか、指導者がどんな人なのか心配である。
- ・ 地域に移行していくのは仕方がないと思うが、家庭への金銭的な負担や送迎等の負担、保護者による当番活動などが無いようにしてほしい。
- ・ 各学校に指導者が来てくれる形だと親も子どもも負担が少ないと思う。違う場所に行くのは、子どもの安全面の心配や、保護者が送迎できず参加できなくなることがある。

児童生徒同様に先生の負担を減らすために賛成という声が多くある一方で、怪我等のトラブル発生時の対応、指導者の選任の仕方、家庭にかかる様々な負担等に対する心配の声も非常に多くありました。

【教員からの意見】

- ・ 教員の負担軽減という意味では、大きな進歩と捉えることができる。しかし、生徒の成長過程を見られなくなるのは、残念な一面である。
- ・ 生徒の家庭の経済状況、家庭の送迎の有無等で参加機会が左右されないようになるとよいと思う。

多忙化の解消のために、地域移行を早く進めてほしいという声が多くある一方で、活動が生徒の成長につながり、生徒の活躍の場を広げるものになることを願う声も多くありました。